

長岡市政3期目スタート

任期満了に伴う出雲市長選挙により、長岡市政の3期目がスタートしました。自然、歴史、文化、産業など出雲市が備える潜在力を引き出し、「山陰の経済、文化をリードする元気な地方都市 出雲」をめざします。



2017年

平成29年

主なできごと

ことしもいろいろなことがありました

3月 国営斐伊川沿岸農業水利事業が完了

平成17年度から国営中海土地改良事業(宍道湖・中海淡水化事業)の代替事業としてスタートした当事業は今年3月に完了しました。今後は斐伊川からの安定的な用水確保が可能となり、当地域の農業生産向上と生産体制の強化が期待されます。

4月 消防団ボランティアサポート隊発足

県内では初めて、消防団をPRする「出雲市消防団ボランティアサポート隊」が発足しました。隊員は県立大学出雲キャンパスと出雲医療看護専門学校で構成され、春と秋の火災予防運動や救急の日の広報などを行っています。

P7.参照

2月 出雲縁結び空港名古屋線利用者10万人を達成

FDA出雲-名古屋(小牧)線が利用者10万人を達成しました。出雲-名古屋線は昨年7月から1日2往復便となり、利用状況は好調が続いています。



4月 多伎小学校スタート

岐久小学校と田儀小学校を統合し、4月10日、「多伎小学校」として開始式を行い、新たな学校生活が始まりました。



4月 ブラジル国際交流員着任

出雲市国際交流員として、アメリカ、フィンランドに加えブラジルから新たにカミーラ・イキエネさんを迎えました。在住ブラジル人と日本人をつなぐ架け橋として活躍しています。



6月 株式会社USENと『縁結び協働宣言』

地方都市が抱える課題解決のために、株式会社USENと地方活性化包括連携協定を締結しました。「ビジネスプランコンテスト」を軸とした創業・開業への支援事業を協働して行い、「行ってみたい・住んでみたい・開業したいまち出雲市」をめざします。



7月 コンビニ交付サービスを開始

マイナンバー(個人番号)カードを利用したコンビニ交付サービスが始まり、住民票の写しのほか、印鑑登録証明書、所得・課税証明書が、全国の主要コンビニエンスストアで取得可能になりました。

9月 手話普及推進条例を施行

県内の自治体で初となる手話言語条例「出雲市手話の普及の推進に関する条例」が施行されました。手話への理解を深め、環境を整えることで、誰もが安心して暮らすことのできる地域社会の実現をめざします。

9月 新しい農業委員会が発足

出雲市農業委員会と出雲市斐川町農業委員会が一つになり、新しく出雲市農業委員会が発足しました。新たに農地利用最適化推進委員が設置され、転用許可業務や担い手への農地集積、耕作放棄地の発生防止、解消などに取り組みます。

市内に複数の宿泊施設が開業

出雲大社周辺などに宿泊施設がオープンし、滞在型観光への受け皿が整いつつあります。

出雲の魅力を再発見！

日が沈む 聖地出雲 日本遺産認定

4月28日、文化庁に申請していた夕日にまつわるストーリー「日が沈む聖地出雲～神が創り出した地の夕日を巡る～」が、日本遺産に認定されました。

今後、広く国内外に情報発信し、多くの観光客に訪れていただくため、さまざまな取組を進めていきます。

出雲国山陰道跡 国史跡へ

11月17日、国の文化審議会は斐川町神氷の出雲国山陰道跡を国史跡に指定するよう文部科学大臣に答申しました。古代道路跡として単体で指定されるのは全国初であり、また、『出雲国風土記』に記述のある「正西道(まにしのみち)」の存在を裏付ける遺構として評価されました。



出雲シティセールス事業

出雲の魅力を全国に発信する
“シティセールス”に取り組んでいます。

縁結びのまち出雲をPR

出雲観光大使のはるな愛さんの協力により「縁結びのまち出雲」の魅力を伝えるPR動画を東京(3月)、大阪・広島(8月)で放映しました。

10月からは、出雲市にゆかりのある著名人の応援メッセージを配信しています。 **P5.参照**



「出雲」ナンバー

自動車の地方版図柄入りナンバープレートについて、1市2町(出雲市、奥出雲町、飯南町)で「出雲」ナンバーの導入に取り組みます。(交付開始予定:平成32年度)

めざそう!
出雲
ナンバー

出雲555
い20-20

映画『たたら侍』が全国上映

出雲地方を舞台に撮影された映画「たたら侍」が、5月20日から全国公開されました。

ジオパーク構想

国引き神話を体感できる地形・地質を活用した「ジオパーク構想」の日本ジオパークに向けた申請を行い、認定をめざします。

ディオッサ出雲F.C

市がプロスポーツ化の支援をしている「ディオッサ出雲F.C.」が、中国女子サッカーリーグで2連覇を達成しました。

全国レベル以上の大会での主な活躍

- 中学スポーツでは、出雲北陵中学校の森本あか音選手が、7月のジュニアオリンピック全国中学生なぎなた大会で優勝しました。
- 高校スポーツでは、出雲農林高校の中尾一稀選手が、8月の全国高校総体カヌー競技大会、日本カヌースプリントジュニア選手権で優勝したほか、出雲北陵高校の石飛涼子選手が全国高校なぎなた選抜大会で優勝しました。
- 一般スポーツでは、国民体育大会ゲートボール競技大会で河南クラブが準優勝しました。第24回カローリングカップで斐川町のチーム「銅剣」が全国優勝を果たしました。筑波大学の佐々木健志選手(出雲市出身)が、5月の柔道東アジア選手権大会(国際大会)、11月の講道館杯全日本体重別選手権で優勝しました。
- 文化部門では、9月に多伎中学校の川上雛花さんが、宇宙の日作文絵画コンテスト絵画部門で最優秀賞にあたる文部科学大臣賞を受賞。また、10月には全日本合唱コンクール全国大会中学同声の部で出雲第一中学校が最優秀賞にあたる文部科学大臣賞、斐川西中学校が混声部門で金賞を受賞しました。高校の部では、出雲北陵高校が金賞を受賞しました。